

戊辰
五

共八冊

七月八日ヨリ二十一日

八月晦日

九月二十一日

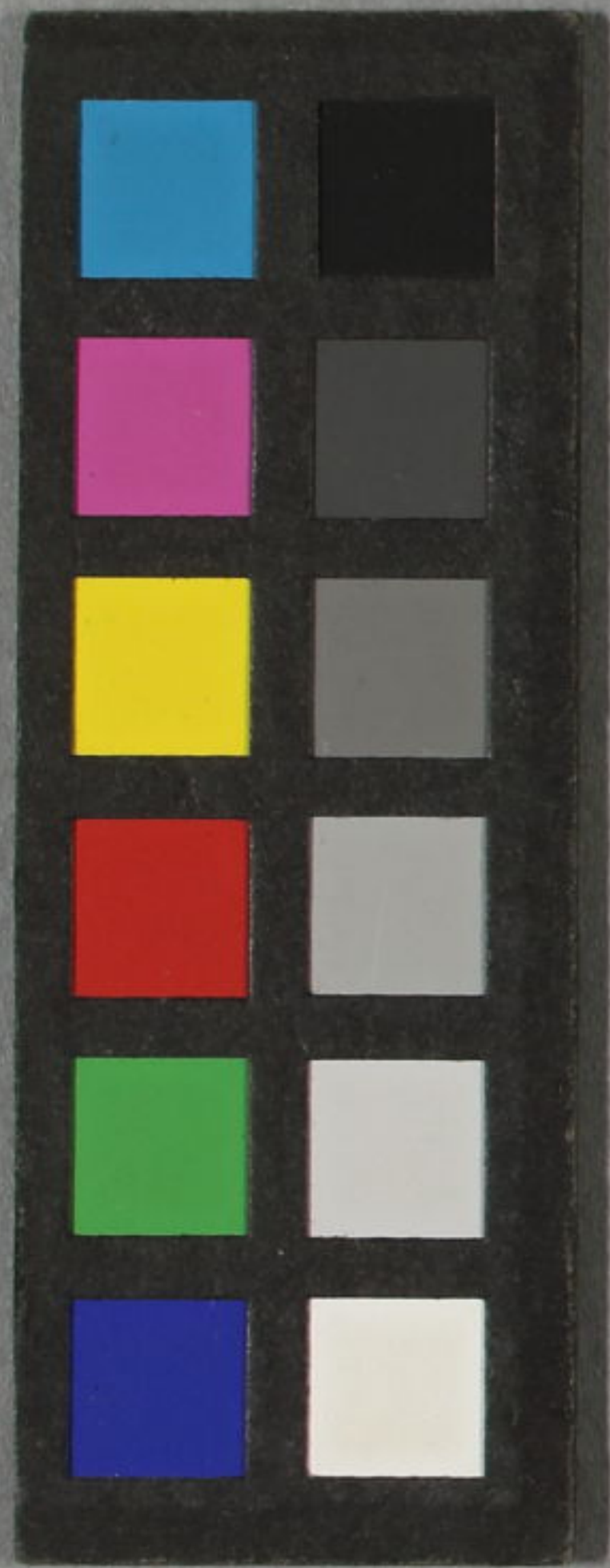
十月十七日迄

早稲田大学図書館

文書 27

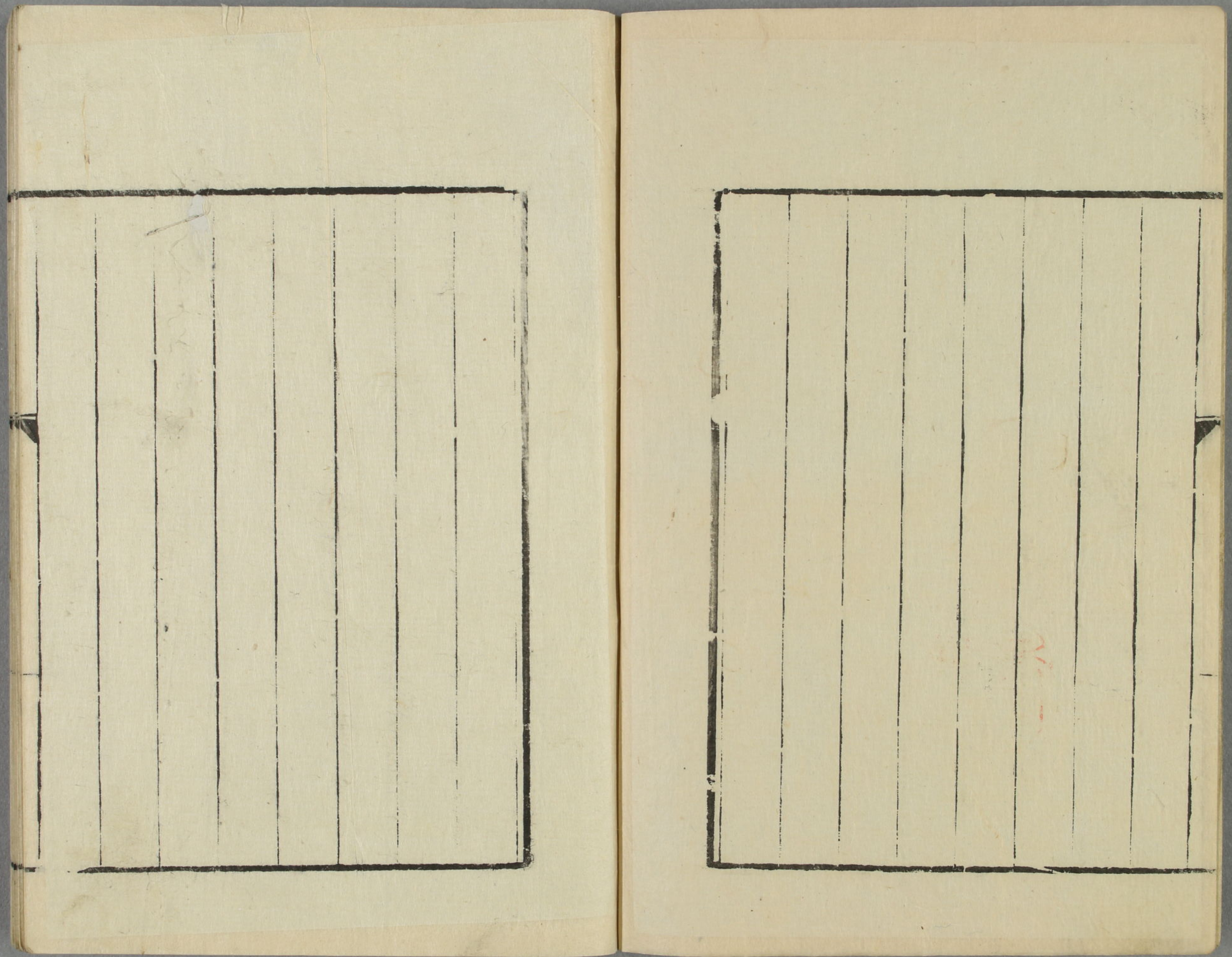
A 19

5



慶應心四戊辰秋日誌





福島陣營
樋口園原即上達
七次第小森決猪
者ノ磐城平手
戦死ノ事ヲ聞
賜寸断

十二月
米沢帰国

此の陣營は、福島城の南にあり、
樋口園原に接する。上達、
七次第小森決猪、
者ノ磐城平手、
戦死ノ事ヲ聞、
賜寸断、
此の陣營は、福島城の南にあり、
樋口園原に接する。上達、
七次第小森決猪、
者ノ磐城平手、
戦死ノ事ヲ聞、
賜寸断、

此の陣營は、福島城の南にあり、
樋口園原に接する。上達、
七次第小森決猪、
者ノ磐城平手、
戦死ノ事ヲ聞、
賜寸断、
此の陣營は、福島城の南にあり、
樋口園原に接する。上達、
七次第小森決猪、
者ノ磐城平手、
戦死ノ事ヲ聞、
賜寸断、

齋憲老公ハ
御三ノ九ノ御
謹慎祈禱
南無阿彌陀佛
中庶子、海田

此の陣營は、福島城の南にあり、
樋口園原に接する。上達、
七次第小森決猪、
者ノ磐城平手、
戦死ノ事ヲ聞、
賜寸断、
此の陣營は、福島城の南にあり、
樋口園原に接する。上達、
七次第小森決猪、
者ノ磐城平手、
戦死ノ事ヲ聞、
賜寸断、

四十七日
西下

以汝軍之制 隔其口而渡江

其方係在城 固守之元中山國者
外之之人 姓名之者

今之笑謀渡部 且藤堂為軍監吉田傳衛
其未淨也 以舟平井隊花口移其處
其方事勢 既陣之矣 及面會之

相持生人 尋其時 委其決所 別情之况 後
用肉攻米澤 其氣不守 其時手解

十日

即繼持年 竟十日 亦分

軍監美 自且輕兵 傷十人 附屬可攻

意取年 奴名 著市板 谷賦 以看 大也 其

其意 所之 為制 先立 法部 多外 兵是 子

板名 名之大 澤在 屋年 其大 澤者 少子 先年 其

其之 子之 二市 物度 米澤 以海 子方 海軍 其

其是 常之 楊因 四所 其了 古也 申牌 其可

一志 危之 者之 其海 其向 其矣 其有 其所 其也

此一段の上の

米沢より會津に出
兵倉崎森三郎
お出張の浦尾
三九郎出度なり

吉田傳衛 米沢より上り流石湯に兵隊を
召寄せた上、浦尾三九郎に命じて兵隊を
黒田より召寄せしむる令後、
兵隊を召寄せた上、米沢より上り
越後へ上り、仁和寺に兵隊を召寄せた上、
皇正奥羽事情に貫徹し、
左衛門尉、小見、五月九年、
軍事、越後、兵隊、大義、又、
講、建、日、

左衛門尉、小見、五月九年、
軍事、越後、兵隊、大義、又、
講、建、日、
左衛門尉、小見、五月九年、
軍事、越後、兵隊、大義、又、
講、建、日、
左衛門尉、小見、五月九年、
軍事、越後、兵隊、大義、又、
講、建、日、
左衛門尉、小見、五月九年、
軍事、越後、兵隊、大義、又、
講、建、日、

廿一日晴

千夜五男七前... 政府の勤勞... 三階書牘... 此月... 事... 公... 形好生...

廿一日晴

形好生... 他... 一... 又... 其... 事... 亦... 之... 日... 之... 之... 之...

栲原予初大坂の念中より乃復臨西
室谷室并笑んたり且人氣洵てきたり七
四し世の事なり

お入る境の本陣の肴煮物三本持膳之念
三味向居はれもあま事成り流々精誠打
久振る廻るれ流るる口所お立

若松城の念中六老念室の七老念の平座
栲原予初大坂の念中より乃復臨西

板垣辭り
閉り初より
り亦其人
ヲ不見

思ひ了り女係移り一と久し何道老陰可
し予より下りた物系なり栲原退りぬる
後念中より大坂の念中より乃復臨西
栲原予初大坂の念中より乃復臨西
部向居れり初より乃復臨西
予より下りた物系なり栲原退りぬる
後念中より大坂の念中より乃復臨西
予より下りた物系なり栲原退りぬる
後念中より大坂の念中より乃復臨西

中... 陰... 其... 越... 北... 越... 居...
 後... 年... 尾... 之... 越... 越... 越... 越...
 左... 年... 越... 年... 年... 年... 年... 年... 年...
 五... 尾... 年... 越... 越... 越... 越... 越...
 西... 年... 越... 越... 越... 越... 越... 越...
 比... 年... 越... 越... 越... 越... 越... 越...
 了... 越... 越... 越... 越... 越... 越... 越...
 但... 越... 越... 越... 越... 越... 越... 越...

廿六日

江... 年... 越... 越... 越... 越... 越... 越...
 朝... 越... 越... 越... 越... 越... 越... 越...
 何... 越... 越... 越... 越... 越... 越... 越...
 上... 越... 越... 越... 越... 越... 越... 越...
 孝... 越... 越... 越... 越... 越... 越... 越...
 交... 越... 越... 越... 越... 越... 越... 越...
 天... 越... 越... 越... 越... 越... 越... 越...
 年... 越... 越... 越... 越... 越... 越... 越...

昔々々々は長崎の長崎

新島に居る所也

阿房

之節の老翁の島を北の

川流する所也

阿房の島に居る所也

書あり記述あり

中興の島あり

元洞の島あり

島あり

島あり

島あり

島あり

島あり

島あり

島あり

十月朔日晴

此書之戰死之弟統率一形骸也
足矣之悔之統也一若孤兒之托身也
莫之好之及厚也也一若此之幸也
朝之所喜也及厚也也一若此之幸也
高下為身也也一若此之幸也
昨夜五身也一若此之幸也
二月八日也一若此之幸也
仙居也一若此之幸也

二日

是也也一若此之幸也
名者也一若此之幸也
其身也一若此之幸也
古口也一若此之幸也
以也一若此之幸也
是也也一若此之幸也
改也也一若此之幸也
場也也一若此之幸也

面層々七之百ち月流毛道すは言に疑り也
余計に拾ふ又必し七部ヶ山華ヶお馬仙居り
先女降し歎り納まると計りて中降しは色に花
又他言して解り待りて也

森林云々為事ゆゑ泰謀渡部此世也
之國に津見事し橋本一泊と云ふ事
はるる居る

一志事多津本と云ふ居層一和事能也

三言
習書

此中何れも谷守部一和事能也此中何れも
津本と云ふ居層一和事能也
此中何れも一和事能也
早起細川と書状来ん居事一和事能也
一刻も早し居層一和事能也
細川花に事来しと云ふ居層一和事能也
多細と云ふ居層一和事能也
多細と云ふ居層一和事能也

在康家... 一... 農兵...
 一元... 揭...
 七... 樓...
 牌... 高...
 光... 記...
 (...)
 田... 缺...
 抄... 所...

六日晴

事... 後...
 虎... 廣... 未...
 是... 法...
 外... 所...
 之... 內...
 其... 最...
 其... 最...

新々五人仕立新庄とて大山柄、女ヨリ左
官軍、抗降化、何れも、降名當否、何れ難
無、仍ラ屬重、可付交死、尋、許捕縛、不、改、
此、地、立、降、可、進、重、役、共、山、中、ハ、孫、參、謀、達
テ、新、庄、兵、十、五、人、為、衛、ト、佐、波、根、願、進、返、
右、之、通、テ、山、形、邊、大、配、信、政、上、山、天、童、申、合、七、大、山
柄、及、直、謝、罪、書、也、認、ニ、本、柄、也、出、下、振、屋、也、認、
使者、美、之、也

上山山形共城内、兵器相攻、一旦官軍、差出
候、當、討、所、當、初、テ、有、奉、也、テ、猶、又、官、軍、
相、渡、其、頃、西、脚、黒、田、之、山、形、
立、去、
奈、荷、勢、
西、第、郎、請、取、也
九、條、殿、降、殿、柄、固、
之、初、降、
之、言、ハ、之、
但、
傳、殿、
之、言、
也、
且、又、漆、山、
館、林、
願、力、
備、攻、地、
初、降、
越、年、
之、勢、
也、
山、形、
之、言、
也、
若、枕、
之、言、
也、
公、能、
也

後況ヲ記シ 花柳筆下リ

我志ハ神ニ誓ヒテ
神ノ旨ヲ守ルニ志ス

侯亦戲シテ云ク 山ノ端 大根伝

云云

大根湯濁 濯身去 到山形 滿心其塵

一夜燈初相對 笑似神 人々似夷人

夜半ヨリ 寒氣如水 孤食ニ透リ 客憂屢醒 朝食

於岩村同伴 市中徘徊 今并各衛ヲ訪ヒ 話ハ

八日陰寒

宰相頭佐藤ヲ見舞ヒ 下平彦ニ 中周旋方 改日長

以馭ニ 昨日ヨリ 先着ノ 兵隊道 通相成リ 今自

上杉老子 亦着 明日右隊 出陣ノ 旨

二十七日 庄内ニテ 嶺上ノ 関門ヲ 不開 已ニ 黒田參謀

ヨリ 十六日 追休兵ノ 嶺期限 相切レテ 六進撃 可致ト

嶺上迄 繰込ニ 漸ク 関門 相開キ 頭頑固 自ニ

○水肥家ニヨリ 書翰 來達ス 耳

○東北 遊撃 將軍 久我 惣方 明日 此方 御

且又盟約一条渡部之齟齬其相談及一年

○家才季面即一在內古岳、燭無帶歸宅

○父上様之赤湯農兵西國、海少破書來著為

少海屯成事

昨夜大雪降、滿地六七寸

岩村虎雄、一猶又堀尾同道越後出張村松取

板、義申某、盟約書一条猶又申來

軍政府出勤會談所、罷出、以文、小、子、

十日新雪

高山迄盟約書一行申越、梅波中付一書

水田の事

○村松屋上下百八今日出立在、仁和寺、

御用、由、中、行、逢、中、各、隊、四、十、人、共、行、送、り、

下平考、中、長尾、松、十、郎、差、配、成、り、

○久我大徳言、為、方、局、着、存、周、旋、ト、三、書、物、送、

ト、即、大、竹、直、記、赤、湯、也、多、ト、又、天、石、隊、

在、内、三、隊、隊、久、我、ト、除、り、周、旋、向、夜、令、以、我、統、

今晚軍政府へ初泊番と勤

早曉軍監登坂右膳赤湯より歸久我殿昨夜

赤湯の着ふ右に取極り参謀吉田陸江

豆田中打砲停り交評定所へ相違り

○晚方久我殿舊包部宅へ着生

○高山上大郎二本松表へ盟約書ノ元本ハ仙

其有之云渡部参謀事字中越半

○島田範十郎の書面也

十三日晴夜

雪

今日不快出勤延引

小森澤備先戦死後今日百ヶ日お参り

母と孫の葬儀焼香に参

先午村迄卧巻共より小森澤に参り焼香に防

葬儀新し焼取死後お成り迄迄お成り

展々中々千太手より急用お成り

多色新文土州参謀岩村左内隔府に防隊

御江戸京都迄参りお成りお成り

都府の身お討 何れ庄田正新お討
中即初光お下宿屋津屋お多しと新
庄田面談然處穂保身人曰節完おと取
取長、お右岩おと好意、他國趣意聞違
或三、大、魁、駭、政、身、身、一旦、布、七、七、以
阿、其、延、引、方、有、然、談、判、決、七、過、手、庄
田、竹、大、丈、小、子、大、丈、新、お、談、先、附、隊
と、多、く、延、引、お、事

十四日雪晴

明日久我殿上京今日大丈方延来、お名
札天朝へ申達スへ、扨、謁、石、相、成、何、し、延
威光の張るなり
昨夜半より雪降、滿地皚々
軍政府出勤。久我附屬の者、餘程包部
宅ニ暮奉、政、歸、後、何、城、内、於、テ
取扱、或、程、不、平、激、以、也
大、激、光、り、所、建、白、草、稻、お、思、持、お、討

屋形様是迄三九之謹慎五新七の今日
三所本城馬返は迄半

昨夜若汰善言中越好引海正地新極
十月限東京馬見止上字一牙中早

金五萬兩出献金七款疎書山空都五本

小森子隊死五松表一内事

号山より勝兵精之五留村屋二一何所

於此集

十日晴

駿河守柳川南兵衛時出勤時薄白衣表
若中重役代相勤一為目派二百正馬守
軍政府出勤出典出酒也

琢藏父子夜中來信

十六日晴

湯野川御衛兵多持原如府一十湯野川系
今日軍政府出陣後給一多利利如勤
兵隊改制八大隊相成
退散後山若馬中隊、為引死兵、守是難

庄田六老（年）酒食、遊食應相成然
政府（内政事）急用、後申來、相談、處
政府已任舞、九蔵、毛利宅、於テ、東京急書
野波命侯事

庄田忠五郎 小島徳太郎 松井之助

中川英四

此、大分、有以湯泉、入波、所、成、事
午、能、之、事、左、之、事、書、事、延、引、改、事

十七日 曇
夜晴

山本村、リ、以、夜、來、歸、リ、早起、面會、木、滑、六、老
七、改、事、事

政府、出、勤、用、事、相、談、之、事、引、碁、金、土、之、事
改、事、事

早、追、之、今、夜、七、時、出、立、段、相、定、ム
諸、有、司、之、會、津、ヨリ、出、張、ノ、段、相、定、ム

夜中、琢、藏、入、來

明治八年十二月九日午後勘所平河町 青葉園
上関筆

閏四月十日京都後早追北際
道少晝夜兼行越長來澤
五歸城矣閏四月十日

閏四月七日岩杯色部
毛利4段赤澤有真白名子向小

十九日竹朕大境
片山仙甚欲白名信

格位以下

廿日

白石子也

廿一日

白石子也

廿二日

白石大河探

廿三日

仙意多所計也

廿四日

仙名 日所

廿五日

仙名 日所

廿六日

仙名 日所

廿七日

仙名 日所

廿八日

仙名 日所

廿九日

仙名 日所

五月朔日

仙名 日所

二日

木溜庄四片山

菱仙名長田天明

三日

関根日暮天童天明

四日

千坂大滝竹股

羽州新考古本陣路

五日

舟方川邊泊

六日

上三山入夜

本留友仙台
歸米沢

五月七日 天明入米沢片所和宛泊了。

八日 色部大文七利鳥津
若新保安田中里小林赤 九時度米澤峠田日暮後大雨

九日 下戸天明日白石止男行槻木日暮

十日 庄田片山 會津諏訪常吉
竹添古庄 植野 榎來 長所天明仙甚雲所増屋長女

十一日 仙甚雲力所増屋長女

十二日 仙甚雲 増屋長女

十三日 仙甚雲 増屋長女

十四日 仙甚雲 増屋長女

十五日 仙甚雲 増屋長女

十六日 仙甚雲 増屋長女

十七日 仙甚雲 増屋長女

十八日 仙甚雲 増屋長女

十九日 仙甚雲 増屋長女

廿日 仙甚雲 増屋長女

廿一日 仙甚雲 増屋長女

廿二日 仙甚雲 増屋長女

廿三日	仙其也坊也
廿四日	仙其也坊也
廿五日	地谷田中
廿六日	地谷田中
廿七日	大江丸
廿八日	結城
廿九日	水戸

道々江ノ内

五月	昌川
六月初	漢殿
二日	氷川
三日	大江山
四日	大江山
五日	開陽丸
六日	大江山
七日	雲山

八日	重考、中村、海
九日	成岸、三所、水、浪、海
十日	重考、中村、海
十一日	氷川、勝、海
十二日	湯川、久、花、梅、海
十三日	中村、海
十四日	中村、海
十五日	水、浪、海

十七日	八下、堀、海
十八日	関口、海
十九日	中村、海
二十日	関口、海
二十一日	関口、海
二十二日	関口、海
二十三日	水、浪、海

中村、海、六泊

水、浪、三泊

二十四	閩口海
二十三	閩口海
二十二	閩口海
二十一	北里海
二十	閩口海
十九	閩口海
七月朔	閩口海
二十	閩口海

二十	閩口海
十九	閩口海
十八	閩口海
十七	閩口海
十六	北里海
十五	閩口海
十四	閩口海
十三	閩口海
十二	閩口海
十一	閩口海
十	閩口海

閩口十七泊

長年積像日記

廿

積像施死危加急

廿一

積像挂之危七比八急

廿二

積像通挂危比急

廿三

積天紋所柴田大助定法

廿四

積天通挂危比急

廿五

積天挂危比急

廿六

積危比急

廿七

十八日

挂危比急

十九日

挂危比急

二十日

積天通 柴田大助定法

二十一日

挂危比急

二十二日

積天通 柴田大助定法

二十三日

挂危比急

二十四日

挂危比急

二十五日

挂危比急

二十一日	辨天通	桂屋哲三
二十七日	辨天通	柴田之海
二十八日	若松貞	<small>英船ルニシテ 修造州院 シテシク 船中ニ在リ</small>
二十九日	紀州渚	大風雨ニ逢テ
八月朔日	兵庫	船出
二日	<small>江橋公彦前</small>	神戶
三日	大坂	道取
四日	大坂	道取

五日	物方驛	海
六日	伏見	天王寺
七日	京都	九條村
八日	京都	小倉
九日	京都	小倉
十日	京都	小倉
十一日	京都	小倉

十三日	大坂道に船場大坂船場
十四日	船場船場船場
十五日	船場船場船場
十六日	船場船場船場
十七日	大坂道空所會所何定
十八日	西風川口油船
十九日	船場船場船場
二十日	船場船場船場

二十一日	船場船場船場
二十二日	船場船場船場
二十三日	船場船場船場
二十四日	船場船場船場
二十五日	船場船場船場
二十六日	船場船場船場
二十七日	船場船場船場
二十八日	船場船場船場

廿九日

北道卷之五

晦日

横濱紫園古所泊

九月朔

八下堀磯口辰輔泊

九月二日

八下堀淡利河岸磯口泊

三日

磯口泊

四日

磯口細川卯泊

五日

細川卯泊

六日

下野腰越磯泊

七日

雀宮泊

八日

錫州泊

九日

淡賀川泊

十日

二本所清水所泊

十一日

庭坪日暮山本成泊

十二日

片所松定着泊

十三日

自在泊

十四日

自在泊

廿九年一月十六日
夜
以七字書
御時大地

十五日

早朝 神出 雲梯

十六日

初島 奉陣 後

十七日

招火 奉陣 後

十八日

米 淨 糶 齋 所 起

十九日

一志 在 第

廿日

御宅 休 務

廿一日

御宅

廿二日

神出 一志 齋

廿三日

一志 齋 第

廿四日

米 淨 齋 所 起

廿五日

若 松 城 齋 所 起

廿六日

若 松 大 地 齋 所 起

廿七日

御宅 安 眠

廿八日

御宅 齋

廿九日

御宅 齋

十月朔

立 所 齋 齋 所 起

廿月二日

三日

四日

五日

六日

七日

八日

九日

一志、口初

濁初、口七

濁定、口初

崇業、口初

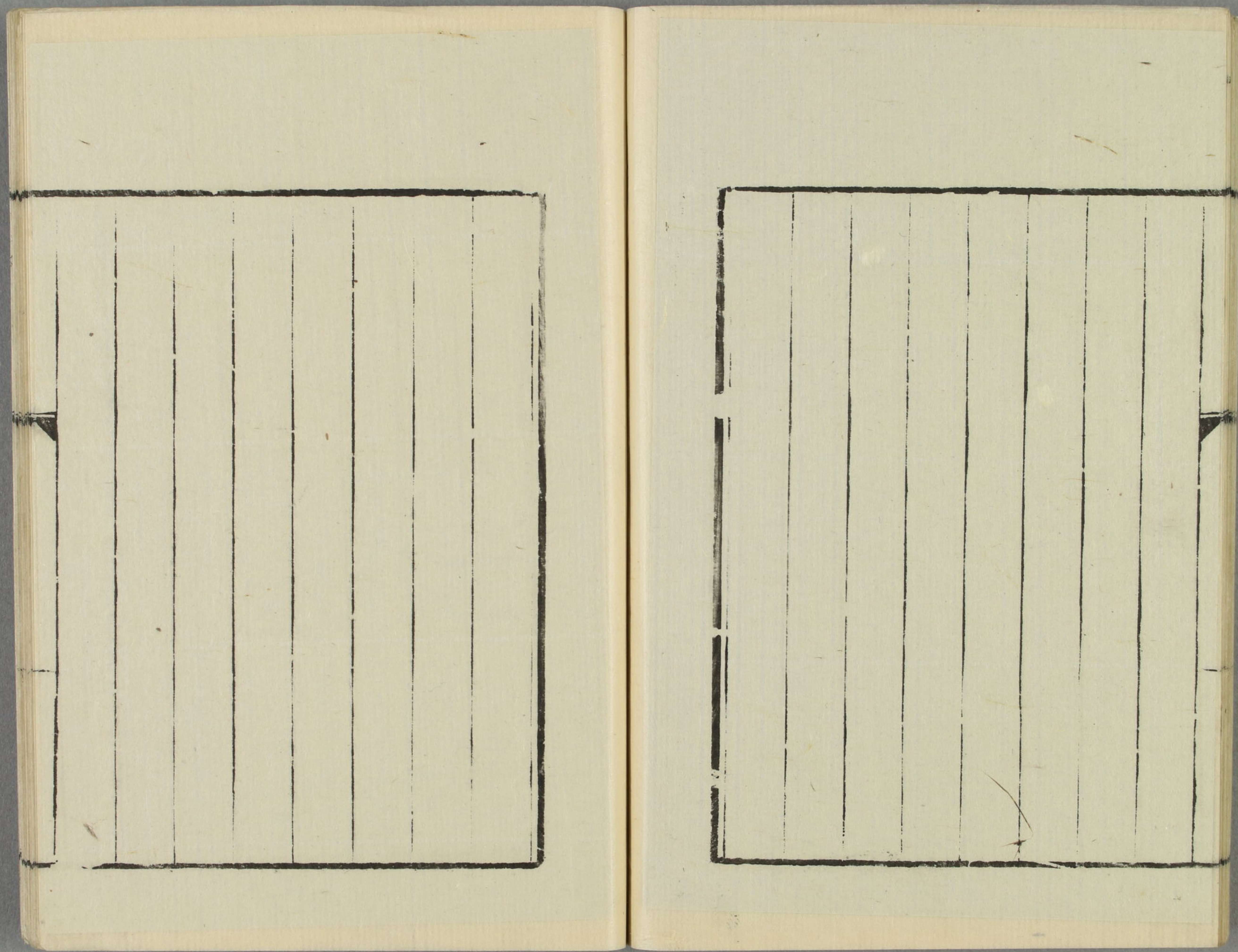
十日

十一日

十二日

十三日

十四日



以下
22丁
白紙

見

一七後由

中河海教於
中日古層紙紙

百后

一七後由

他書紙紙
左所新紙紙

口

一七後由

石川神紙紙
紙紙紙紙

一七後由

紙紙紙紙
紙紙紙紙

一七後由

此其非事日多細紅腐方收定速百書紙紙
上京身日七古古九月名均因と紙紙紙

山口部名古紙紙紙紙紙紙紙紙紙紙紙紙

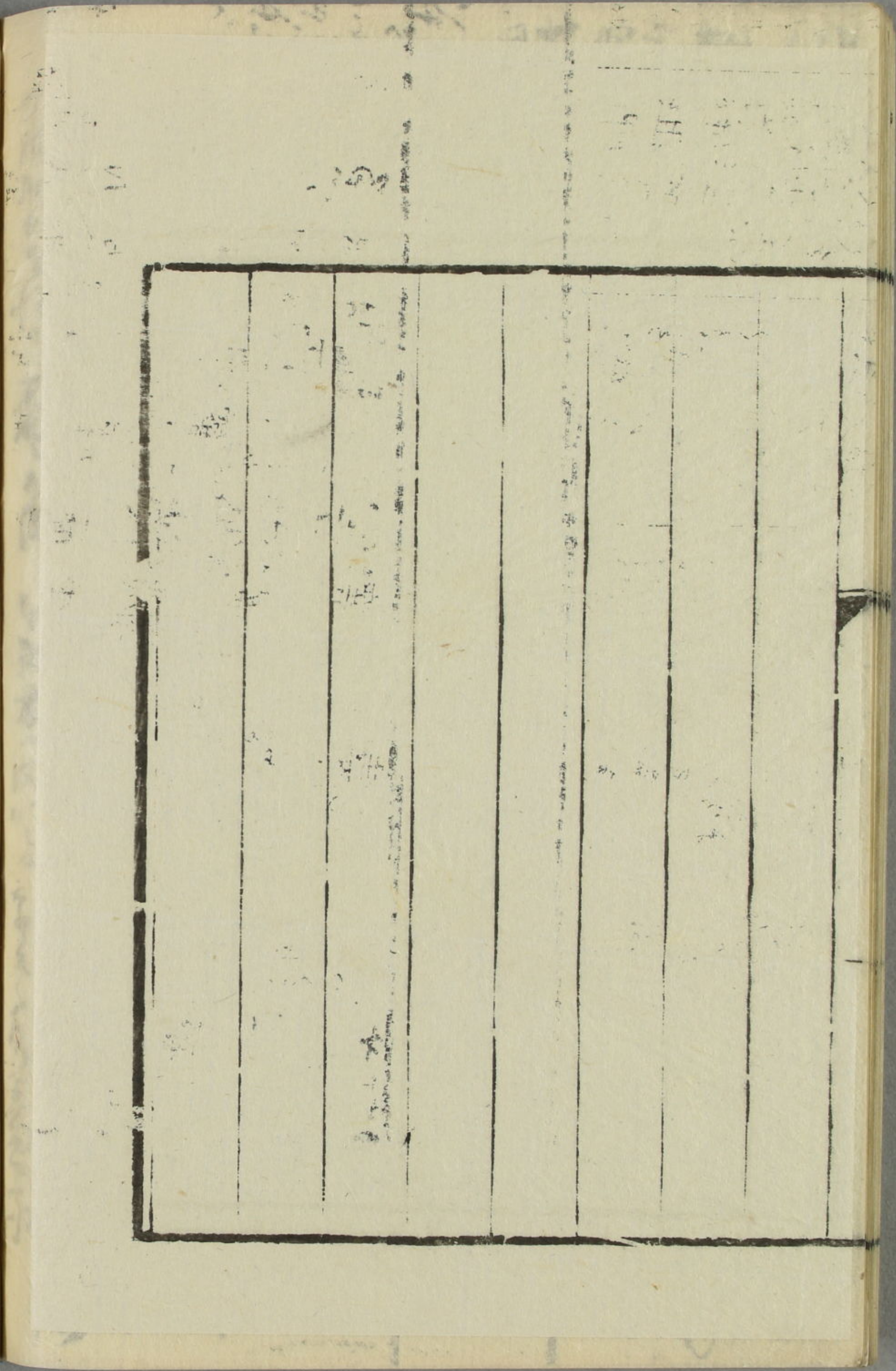
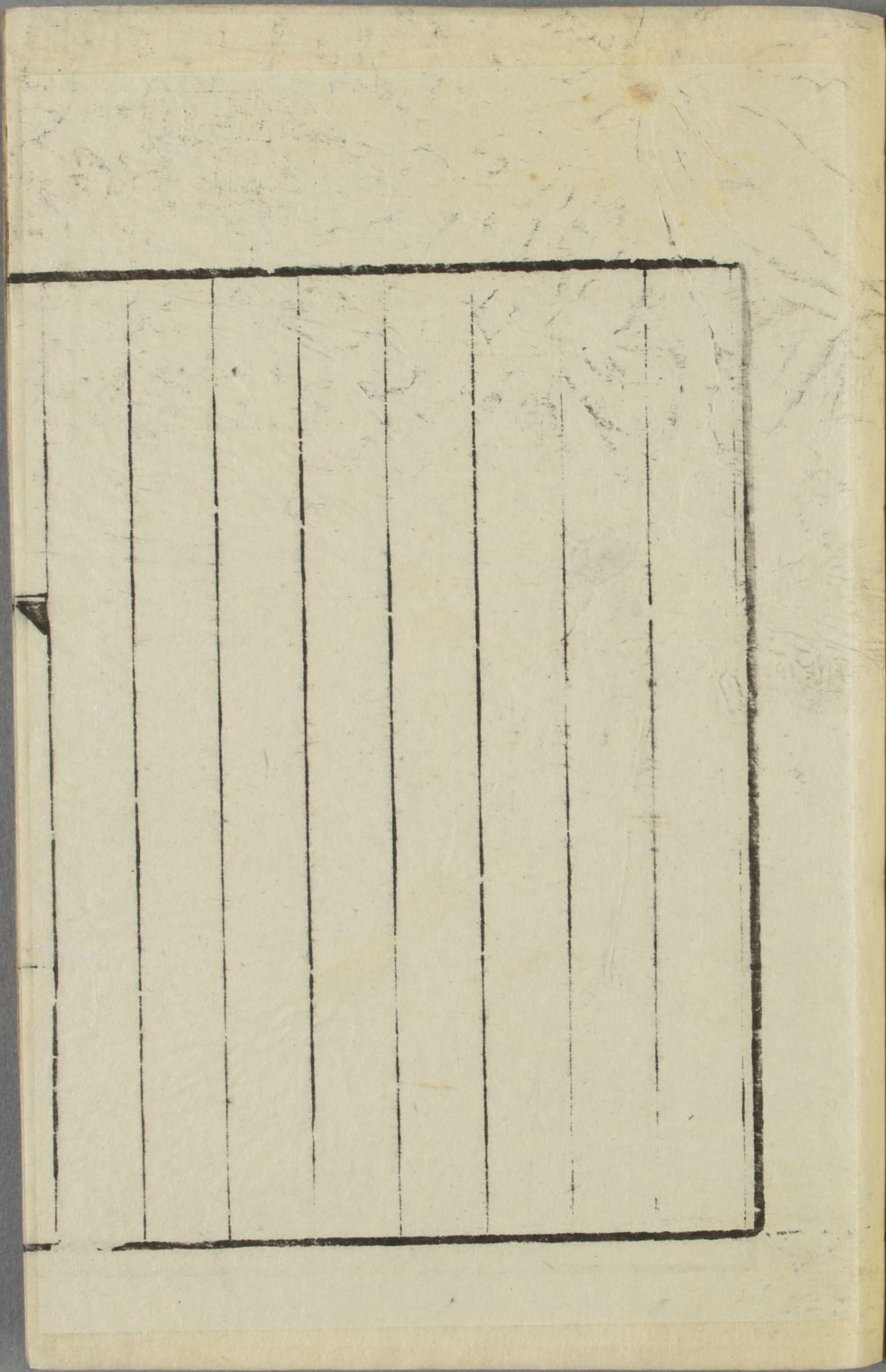
依海の中白明細古紙紙紙紙紙紙紙紙紙紙

正百白紙紙紙紙紙紙紙紙紙紙紙紙紙紙紙

紙紙紙紙

紙紙紙紙

紙紙紙紙紙紙紙紙紙紙紙紙紙紙紙



戊辰青上京建白額末左

水政府、丁店田塔尾丸祖有石三仙、坂俱木說得仙臺、丁至嘉安甲丸祖其、
但本承服肥後三生春會、江戶子代田形、荒井却之、以田陽丸、後本和泉、
勝安房、山田鐵太郎、水沢汝助、関口具輔、前島末輔、桑田大、桂屋
喜藏、何禮、助、辻竹藏、大谷屋八重吉、天寺宇兵衛、小森治、助、丸多、一、土州
下村、桂太郎、深尾、昌門、土依中納言、大政官、議定、養與局、八納言

堤首三
杉亭二
結木籠後守
長尾謙吉
橋山侍渡
山本寛次
柳小路

口上杉世子庄内出兵ノ事ハ
清水駅 九月二十三日
湍陣

庄内 二十九日 築込 十月四日
庄内 葦原 一川 四日

清川 音 清川 禰 六日
橋園 七日
山形 八日 米守 着

米守 官事
二本松

廻りの廻り

○庄内 西野 庄内 子 以 米守 先 矩 庄 延 始 大 山 柳 而 是 野 着
此 終 時 以 一 終 以 野 息 真 之 引 上 ケ テ 現 松 平 様 千 印 其 時 終 野 着

